

【課題名】

原子力施設の廃止措置を統括するグローバル人材の育成

実施期間: 令和3年度～令和5年度

【研究代表者・所属機関】 岡本孝司 ・ 東京大学

【参画機関】 エネルギー総合工学研究所

【目的】 戦略的な観点を持って廃止措置を推進していくスキルを持つ人材, すなわち, 廃止措置に係る技術的な側面に加え, 原子力利用におけるバックエンド分野の社会における重要性及びそれが与える社会的影響を理解している者であり, 海外の良好事例を積極的に取り入れ, 効果的かつ効率的な廃止措置推進を可能とする人材の育成を目的とする。

【課題概要】

目的とする人材を育成するために次の3つのプログラムを実施する。

(1) 戦略的観点を持つ廃止措置ゼネラリストの育成のための講義と実習

廃止措置全般にわたる知識及び戦略の構築並びにプロジェクト管理の習得を目的として, 次の講義及び実習を実施する。

- ① 廃止措置で必要な廃止措置技術に係ること
- ② 戦略の構築に必須な微分析, 環境分析, リソース分析に係ること
- ③ 状況の変化に対応するスキル(グレーデッドアプローチの適用)に係ること

\* 講義及び実習はオンラインで実施する計画である

(2) 国内視察

廃止措置を実感するために最も効果的である国内実施状況の視察を実施する。原子力発電所, 核燃料サイクル施設等の廃止措置現場の視察を行う。

(3) 海外研修

海外研修として, 先行する海外の廃止措置の状況視察及び現地技術者との廃止措置の戦略に係る事項について議論及び情報交換を実施する。

\* 視察及び研修は現地を検討しているが, 状況によってはオンラインの可能性もある

目標とする人材像

廃止措置に係る  
工学的な知識

原子力全般にわたる知識  
廃止措置の特徴  
廃止措置に適用する技術  
廃止措置安全の考え方

廃止措置に係る  
社会科学的な知識

プロジェクトマネジメント  
社会分析技術  
事業の最適化  
経営戦力

廃止措置の戦略

グレーデッドアプローチの適用

戦略的な観点を持って廃止措置を  
推進していくスキルを持つ人材